

商工 かこがわ

The Kakogawa Chamber of Commerce and Industry



特集 ふるさと納税返礼品 協賛事業者に登録しよう

■クローズアップ

■エッセイ

加古川商工会議所青年部
会長 竹内 一真 さん



<https://kakogawa-cci.or.jp/>



もくじ



① 今月の表紙
『(有)ポム・ココット』

事業所データ

◆代表者

代表取締役 寺西 雄介 てらにし ゆうすけ

◆所在地

加古川市加古川町北在家2674

◆電話

079-427-0155



◆ホームページ

<http://www.pommescocottes.com/>

◆表紙写真

- ①笑顔のスタッフがお迎えます(右から2人目が雄介さん、隣はご両親)
- ②色鮮やかな前菜を前にして心も弾みます
- ③炭火焼きの黒毛和牛。外はこんがり、中はジューシーに
- ④仕上げのソースで料理が決まる。真剣な表情の雄介さん
- ⑤極上のお料理を召し上げ

2 特集

全国に自社商品をPR!
ふるさと納税返礼品協賛事業者に登録しよう

7 クローズアップ

「創造力と思いやりで持続可能な未来へ」
加古川商工会議所青年部
会長 竹内 一真さん

9 エッセイ

「私のやりたいこと」
夕希菜 似顔絵店
代表 きただ 夕希菜さん

10 会議所のうごき

新規会員のご紹介 他

11 団体だより

女性会・加古川市環境保全研究会・異業種交流会・青年部

15 会議所からのお知らせ

「令和5年度前期会費ご請求のお知らせ」 他

16 会議所カレンダー

「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



洗練された料理で至福のひと時を

色鮮やかな旬野菜の前菜、メインはシェフ自ら厳選した魚介や炭火焼きの肉料理、デザートには名産地から取り寄せた四季折々のフルーツを。「店名のポムはじゃがいも、ポム・ココットはじゃがいもの付け合わせの名前です。付け合わせはメインを引き立たせる重要な役割。私たちが主役のお客様を引き立たせるような役割でいられるように、との思いで名付けたと聞いています」と話すのは社長の寺西雄介さん。両親が1989年(H元)に開業し、厳選した食材の味を活かした料理は多くの食通の舌を唸らせてきました。雄介さんはそんな父親の姿を見て「格好いいな」と自身も料理人の道を目指すことを決めます。「厨房で料理を作る父を今でもすごいなと思いついていますが、いざ自分が料理人になつてみると、格好いい」だけでは済みませんね、大変です」と笑いながら話します。

「旬の野菜と旬の魚など、旬のものの同士の組み合わせについては勉強を重ねてきて自信がある」と言い、「開業してから30年以上たちますが、開店当初からお越しいただいているお客様もいらつしゃいます。肉のソースなど『昔も今も会える味』を大切にしながら『新しい味』も楽しんでいただけるよう、リピーターにも飽きのこないメニューを日々考えています」食材の魅力を最大限に活かした料理は多くの人の支持を得ています。

そして食事を楽しむ際欠かせないのがワイン。しかし雄介さんは全く飲めず。これまで「おすすすめを聞かれても、自信を持ってすすめられなかった」そうです。しかし「お酒と料理で食事が成立すると言っているくらいワインは重要なアイテム。料理を考案するうえで飲めないからと避けては通れないし経営者としては売上アップも図りたい」と考え、なんと今年からソムリエスクールへ。「ソムリエになれば自信がつくだけでなく、メニューの幅も広がる。ソムリエが考案した料理ならお酒に合うこと間違いない。舌は鍛えられているはずなので、資格取得を目指して頑張りたいです」と苦手なことにも挑戦していきます。

「料理はお客様を笑顔にすることができるとの仕事。お客様の帰り際の笑顔を見るとやっけていて良かったと思えます。美味しいだけじゃなく幸せに思ってもらえる料理と幸せな時間を提供したい。そのためにもこれからも精進し続けます」料理を作ることは何よりも楽しいと話す雄介さん。皆さんもポム・ココットでこの上ない幸せのひと時を味わってみませんか。

加古川市の魅力を全国に

加古川市産業振興課 澤田浩作さん・中島麻衣さん

令和4年度の加古川市へのふるさと納税額は、令和3年度の2億2千万円から大幅に伸び、これまでの過去最高の4億円に到達する見込みです。寄附が増えた理由は、魅力ある返礼品が充実し、より全国の皆さまの目に留まるようになったからだと考えています。現在、返礼品は515品、返礼品を提供いただく事業者も82者と年々増加しています。また、返礼品を掲載するポータルサイトも3サイトから9サイトに増やし、より広く周知しています。(数値は3月上旬の取材時)

加古川市の人気の返礼品と言えば、「牛肉」をはじめ、日本初の国産デュラム小麦の収穫から製麺までを市内で行う「加古川パスタ」などがあります。さらに、全国でも珍しい、寄附額100万円の「肉職人出張料理プラン」は毎年お申し込みいただくリピーターも。食料品以外では「洋服ブラシ」、「木杵ミラー」、「オーダースーツ」、「靴下」などインテリア・日用品も主力の返礼品です。

加古川市では、新規参加を希望される事業者へ個別訪問による説明や登録手続きのご案内を行っています。また、加古川商工会議所の「ふるさと納税返礼品開発特別委員会」では、新規事業者向けのセミナーを開催し、個別相談会で不安の解消を図るなど、事業者により近い立場からふるさと納税への参加を後押ししていただいています。今後も、加古川商工会議所と連携し、事業者にとって参加しやすい環境づくりをしていくながら、加古川のいいものを発信していきたいと思えます。

ふるさと納税は加古川の魅力を伝えられる大きなツールとなっています。市内の事業者の皆さんにご協力いただきながら、ふるさと納税を通じて全国の皆さんにPRすることで、経済・地域の活性化にも繋げていきたいと考えています。また、ふるさと納税は事業者の皆さまにとって、全国に自社(商品)をPRできる絶好の機会となり、新たな販路の獲得にも繋がります。この機会にふるさと納税に参加してみませんか?ぜひ、お気軽にご相談ください。

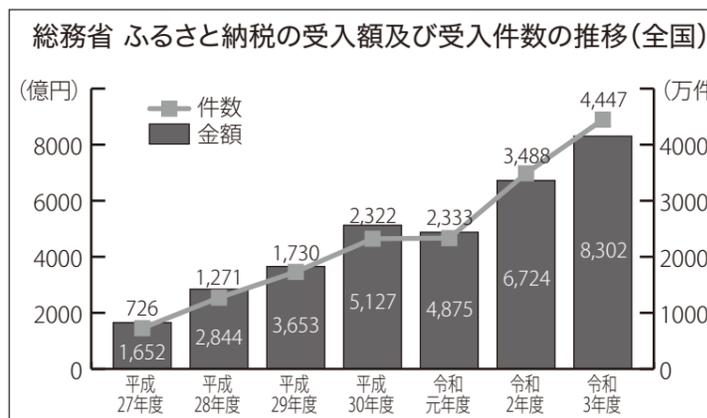


澤田さん 中島さん

全国に自社商品をPR!

ふるさと納税返礼品協賛事業者に登録しよう

近年、増加傾向にあるふるさと納税。市の魅力をPRするだけでなく返礼品事業者の商品やサービスのPRツールとしても注目されています。自社製品等を返礼品に登録することで全国にPRし、販路拡大にも繋がるなどメリットが多いこの事業、是非一度ご検討ください。



ふるさと納税は、生まれ育ったふるさとや応援したい自治体に「寄附」ができる制度です。寄附金控除によって所得税と住民税から控除を受けられることから、一般的には「ふるさと納税」と呼ばれています。ふるさと納税は寄附することで各地の返礼品を受け取ることができ

寄附は全国的に増加傾向

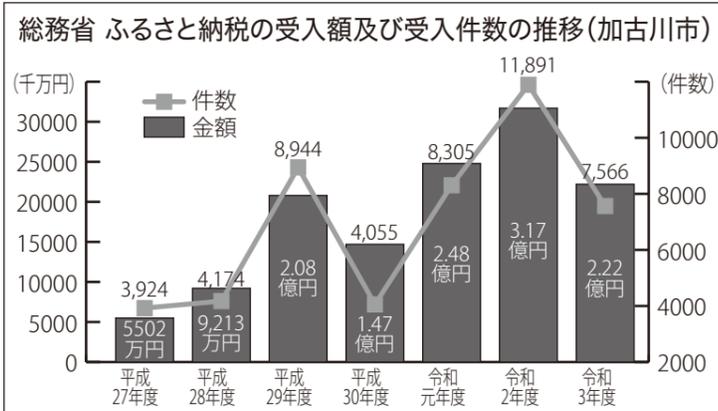
加古川商工会議所でも、地域経済の活性化を目的に、令和4年3月に『ふるさと納税返礼品開発特別委員会』を設置しました。これまで委員会を5回開催し、加古川市への寄附額アップを達成するにはふるさと納税の事業者登録数と返礼品アイテム数を増やすことが重要との見知から、事業所向けセミナーやPRを展開することとなりました。8月に開催されたセミナーでは加古川市のふるさと納税運用管理事業者を、10月は楽天グループの担当者をそれぞれ講師に招き、制度内容や登録・出品方法などについて学びました。個別相談会では、自社商品のブラッシュアップや登録を進めるうえでのサポートも行われました。加古川市の推進策の効果もあって、今年度末の返礼品登録事業者は約80者となり、今後の登録増についても期待が持たれています。

今後も加古川市と連携し、加古川の魅力を発信できる新たな返礼品

ふるさと納税返礼品開発委員会が返礼品登録を後押し

また納税額の全国ランキング上位自治体は100億を超えることから、魅力的な返礼品がある自治体や応援してくれる人の多い自治体は、大幅な税収増が期待でき、多額の寄附が集まれば、質の高い行政サービスが提供できるようになっています。

また納税額の全国ランキング上位自治体は100億を超えることから、魅力的な返礼品がある自治体や応援してくれる人の多い自治体は、大幅な税収増が期待でき、多額の寄附が集まれば、質の高い行政サービスが提供できるようになっています。



また同時に、その返礼品を協賛している事業者にも売上や利益をもたらすことから、ふるさと納税は地域・経済の活性化にとっても欠かせない制度となっています。寄附は返礼品を基準に選ばれることが多いため、全国の自治体が地元企業と連携し魅力的な地場産品などを返礼品にしていますが、最近では「モノ」だけでなく「体験型」も人気となっています。

令和3年度 納税額自治体ランキング(全国)

順位	自治体名	納税額(億円)	返礼品
1	紋別市(北海道)	153	ホタテ・いくら・ズワイガニ等
2	都城市(宮崎県)	146.2	豚肉・炭火焼鶏・チキン南蛮等
3	根室市(北海道)	146.1	ズワイガニ・いくら・うに等
4	白糖町(北海道)	125.2	いくら・鮭・数の子
5	泉佐野市(大阪府)	113.5	泉州たまねぎ・パスタオル等

令和3年度 納税額自治体ランキング(兵庫県)

順位	自治体名	納税額(億円)	返礼品
1	※ 洲本市	78.4	※ 洲本温泉利用券・淡路牛肉等
2	加西市	63.6	トースター・インテリア家具等
3	神戸市	16.4	ビール・洋菓子・日本酒等
4	南あわじ市	12.6	ヨーグルト・玉ねぎ・ふぐ等
5	豊岡市	11.6	牛肉・洋菓子・かばん等
24	加古川市	2.2	牛肉・鏡・お米等

※2022年5月1日よりふるさと納税対象外。

事業者にとってはメリットだらけ

ふるさと納税は事業者にとって返礼品登録事業者になれば得られるメリットが多く、例えば、

- ① 配送料は市が負担
- ② 利益率が高い
- ③ ふるさと納税サイトに商品名や事業者名が掲載されるので広告効果が期待できる
- ④ 全国の寄附者に自社の商品をPRすることで、新たな顧客(販路)を得ることができる
- ⑤ 返礼品を発送する際に、自社パケット等と同封することができるので、返礼品以外の商品もPRが可能

次ページでは、ふるさと納税返礼品に登録している会員事業者の声を紹介します!

ノーリスクなのでおすすめです

自社はウェアや販促物にプリントやレーザー加工を施しオリジナル商品を製作していますが、ふるさと納税返礼品への登録は地場産でないと出来ない（資格が無いと）思い諦めていました。そんな時に商工会議所で説明会が開催され、完全自社製造でなくても、主要な加工を自社でしていれば登録できるということを知り申請し実際に登録できました。

返礼品第1弾は自社サイトでも購入実績のあった商品で、赤ちゃんの名前・生年月日・自社オリジナルデザインの干支イラスト等を入れた「乳歯ケース」にしました。ふるさと納税サイトを検索してみてもあまり無く「どうなんだろう」と不安もありましたが、説明会の個別相談で反応のある可能性の高い商品だと後押しを受け、返礼品として出してみたところ、年末だったということもあってすぐに十数件の申込がありました。世界に一つだけ、一点ものというところが良かったのかなと思っています。

返礼品送付の際に、他の市では自分で作成しないといけないう送り状も加古川市が作成してくれるのでとても助かっています。送料も市負担、利益率も高くリスク無しと、出して損はないと思います。今後はへその緒ケースや産毛ケース、猫や犬のひげケース、キャンプグッズなどオリジナルロゴやイラストを加工した返礼品を出していこうと思っています。「オリジナルグッズのカテゴリー」としての新たな価値を見出したことが何より良かったですね。



株式会社わくわく
代表取締役 奥田久美さん



人気の乳歯ケース

新商品で利用者拡大を

自社の木枠ミラーは和洋問わずマッチし、縦・横どちらでも壁掛け可能なので、部屋・洗面所・階段など色々な場所に使うことができます。

ネット販売では「SENNOKI」というブランド名で販売をしていたので、2年前からは千代木工という会社名に加えて「SENNOKI」名で返礼品を出しています。その方が検索にも引っかかりやすいと考えたからです。ミラーは好評ですがリピートに繋がりにくい商品のため“ミラー周り”の物も出したら「こんな商品もあるのか、ミラーと合わせるといいんじゃないか」と思ってもらえるのではないかと、壁掛けシェルフなどを新商品として登録しました。



千代木工
ゼネラルマネージャー 岡本健太郎さん

これまでお客様から「実物はどこで見られるのか」という問い合わせが多かったのですが、この度、夢であったショールームを本社敷地内にオープンしました。初めは地元の方が実物を見られるようにとの思いで計画を始めたのですが、ふるさと納税を見た市外の方からもご来場の予約をいただいています。

「SENNOKI」はシンプルというイメージがありますが、今後はデザイン性を重視したものも出していきたいと考えています。品質には自信がありますので、高品質に遊び心が加われば返礼品の利用者層も広がるのではないかと考えています。



幅広いインテリアにマッチする鏡

SENNOKIのショールーム

ふるさと納税に参加するメリット

市内に本店又は事業所を有する法人その他の団体又は個人並びにこれらの団体等で組織された組合その他これに類する団体であること

➡ 加古川市入札参加資格者名簿へ登録されていること

※初めての参加で、ふるさと納税の手続き時点で名簿に登録がない場合でもふるさと納税に参加はできますが、市税に未納が無いことが条件。ふるさと納税参加後に、名簿登録が必要。

➡ 提供する返礼品が地場産品基準に適合していること

① 加古川市内において生産されたものであること

② 加古川市内において返礼品等の原材料の主要な部分が生産されたものであること

③ 加古川市内において返礼品等の製造、加工その他の工程のうち主要な部分を行うことにより相

応の付加価値が生じているものであること

④ 加古川市内において提供される役務その他これに準ずるものであって、当該役務の主要な部分が加古川市に相当程度関連性のあるものであること

右記①～④のいずれかにあてはまること、となっております。

自社の返礼品の寄附を伸ばすポイントは？

➡ 訳アリ商品でもヒットに繋がります？

ふるさと納税では「訳アリ商品」が多く検索されています。サイズが不揃いなどの商品も、品質に変わりはないのでヒット商品に繋がることもあります。

➡ ターゲットを明確に

返礼品は内容・設定金額によって寄附者層が大きく異なります。ターゲットにあわせたアプローチや見せ方が大切です。

➡ トライ&エラー

少しずつでも出品して、反応を見ながら出品し、試行錯誤するこ

とで選ばれる返礼品となります。

➡ 返礼品数は多く

返礼品数が多くなるほど、寄附者が見つけやすく、多くの目に留まります。

➡ バリエーションを豊富に

寄附者のニーズは多様です。例えばお米の出品でも〇キロ×2袋のみではなく、少量・多量、訳アリ品、定期便でも3ヶ月や6ヶ月にする、他にも玄米や無洗米とのセットなど、多くの人の需要にあわせて満足してもらうことがリピートにも繋がります。

➡ おもてなしの心がリピートに繋がる

明確な納期、作り方説明、はがししやすい梱包、お試し品のおまけなど、してもらったら嬉しいことや印象に残る対応で寄附者のリピートに繋がります。

ふるさと納税は自社商品・サービスを全国にPRできるチャンスです。制度を活用し、販路拡大・売上向上につなげませんか。

新たに令和5年度の青年部会長に就任した竹内さんに、青年部にかける思いについてお話を伺いました。

常に「誰かのために」を考えて

今年のスローガン「Just For Someone」にもあるように「誰かのため」を思いながら事業を進めていこうと考えています。「自分のため」は結果で、家族・従業員・青年部メンバー、地域の方やお世話になっている方など、誰かのためという思いは絶対に自分のためよりも力を発揮できるし、活動のモチベーションにも

創造力と思いやりで

持続可能な未来へ

加古川商工会議所青年部

会長 竹内 一真 さん

なると思います。そしてそれは必ず自分にも良い結果として返ってくるはず。それが実感できる1年にしたいですね。

「産官学」と連携を

ここ数年、国内外の社会情勢、環境、そしてコロナ禍によるライフスタイルや働き方の変化など、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。私たちは様々な場面でその状況に乗り遅れることのない柔軟な対応をしなければいけません。そのためにも、今年度の研修はこれまで以上に力を入れ、研鑽を積み、個々のレベルアップを図る予定です。

そして青年部活動は私たちだけでなく、地域や行政との協力があって活動ができています。今後も「産官学」と連携をとり、加古川を盛り上げる内容の事業を進めていきます。

昨年度に復活した「子どもの夢をかなえ隊」事業は非常に好評で、地域の皆さんに青年部の活動を知ってもらっただけではなく、子どもたちも実現まで一緒に活動し「大人ってすごいな」と思ってもらえる事業だったのでないかと思えます。今年度も是非とも実施したいと考えています。

また地域を盛り上げる事業と言えば「商工祭加古川楽市」です。今年20回目を迎えますがこの節目に改めて「商工祭」の原点に立ち返り、集客イベントだけではない、「商工会議所青年部」が実施するのにふさわしい、加古川の企業を知ってもらえるような内容にしたいと思えます。担当委員会にはとても難しい課題を与えてしまったと思いますが、みんなで知恵を出し合いながら良い楽市にしたいですね。

「思いやり」と「未来」

私がこの一年間でメンバーの心に留めてほしいことは二つ。一つは「思いやり」です。常に相手のことを考えて行動をしてほしい。そして二つ目は「未来」です。未来を見据えた持続可能な目標を持って行動してほしい。この「持続可能」という言葉はSDGsでよく知られていますが、SDGsも全ての人の思いやり、希望のある未来を目標にした取り組みです。

青年部も思いやりを持って活動し、希望ある未来へ進んでいけるよう、メンバー一丸となってまいります。皆さまにはご協力をいただくことが多々あるとは思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

「私のやりたいこと」

夕希菜 似顔絵店 代表 ^{ゆきな} きただ 夕希菜



夕希菜さんが描いた
ご自身の似顔絵

幼少期から絵を描くことが好きで、漠然と『絵を描く仕事に将来はつきたい』と、思い描いていました。しかし、スポーツにも興味がでてきて、大学は体育大学へ進学しました。絵を描く事はずっと好きでしたが、歳を重ねるごとに、絵をどうやって仕事に繋げていくのか、本当に私の絵がお金に繋がるのか、、、あまりにも未知な世界で、そのままスポーツ関係の仕事につきました。しかし、一度きりの人生、やりたい事に一度もチャレンジせずにいるのか、、、???

と、自問自答する日々が続き、たった一年でやっと就職出来た仕事を辞めることにしました。辞めたはいいものの、絵で収入を得るほどの実力がなく、まずは路上で似顔絵を描いて、経験値を増やすことにしました。もちろん、似顔絵を描いても、希望に添える作品が出来ず、お金を頂けない事や、罵声を浴びせられたこともありました。悔しい気持ちや、怖い気持ちが入り混じり、泣きながら帰る日が続きました。そこで、『もう辞めてしまいたい』と、何度も思いましたが、一度きりの人生、最後までやり尽くしてやろう!!!と、自分を奮い立たせ、最終的に大阪の某テーマパークの専属似顔絵師になることができました。似顔絵を何十年とされている、大先輩方と同じ土俵で似顔絵を描ける幸せを噛みしめながら、毎日似顔絵を描いていました。

により厚みを持たせ、心を豊かにしてくれるな、、、と、実感しました。結婚、出産を経て、片道2時間かけて出勤することが厳しくなり、5年前より完全にネット販売に移行しました。0から1を生み出す仕事なので、常に技術向上の為に365日、休みなく絵を描き続けること今年で12年になりました。今だに絵を描くことに飽きたり、嫌になる事はなく、毎日楽しい気持ちで仕事に取り組んでいます。ふと、正社員の仕事を辞めた時の事を思い出しますが、あの時自分の気持ちに嘘をつかず、チャレンジしてよかったな、、、と、自分を褒めたくくなります。娘は今4才ですが、世間的に認知されていない仕事や、固定されたお給料がもらえない不安定な仕事でも、やりたい仕事に就いて欲しいと思っと思っています。その為には、人より努力しなければならぬし、気持ちの面やお金で辛い思いをするかもしれない。しかし、それ以上に得られる事は多くある事を、私の仕事を間近で見ると感じて欲しいです。後何年、生きられるかわかりませんが、棺桶に入る日まで、大好きな絵で、誰かに笑顔をお届けしていきたいです。

◆ 団体だより ◆

女性会

さらなる加古川の発展のために

―岡田市長と懇談会を実施―

2月7日、岡田市長との懇談会を実施しました。まず市長から「加古川ならではの魅力づくり」並びに「令和5年度の予算案」について話がありました。

市の新年度予算案では、自然を活かしたまちづくりとして見土呂フルーツパーク・権現総合公園・日岡山公園の再整備を行う事、駅周辺のにぎわいづくりとしてJR加古川駅のみならず河川敷や近隣の商業施設・商店街なども含めた広い範囲を回遊エリアに発展していく事、産業誘致による雇用の創設に野口や志方等への検討を開始している事と共に子育て・教育・高齢者施策の説明がありました。

その後、質疑応答の時間を頂き、ビジネスプランコンテスト・子育て支援・市役所の女性管理職の割合など女性目線の質問や意見が出ました。参加者からは、市長と懇談ができて市政を身近に感じることができた喜びの声がありました。

(井上 やすこ)

加古川市環境保全研究会

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所を視察

―エネルギーエクスポート部会合同視察研修会を開催―

2月22日、(株)神戸製鋼所加古川製鉄所を訪問しました。

施設概要のDVDを視聴後、鉄鋼製品の製造過程の補足説明を受け、エネルギーフローの中で発生した蒸気や余剰圧力によるタービン発電を用いての省エネ方法や発電効率向上や省電力活動の仕組みについて説明を受けました。特に省電力活動については従来と比較すると、11,500MWh/年の省電力に成功したと述べました。次に高炉におけるCO₂削減に向けた取り組みについて、削減するには、還元反応に使用するコークス

(炭素)や微粉石炭をいかに削減するかが重要となり、天然ガスを改質した還元ガスで鉄鉱石を直接還元した還元鉄(HBI)を使用することで、CO₂を20%削減することに成功したと説明があり、その後、加古川製鉄所の第2高炉及び熱延工場を見学しました。

(参加者は21名)

異業種交流会

岡田市長との懇談会を開催

―2月度定例会を開催―

2月21日、2月度定例会で、市長を囲んでの懇談会が加古川プラザホテルのレストランリヴィエールにて開催されました。

西村会長の挨拶の後、岡田市長よりあいさつと令和5年度の加古川市の重点施策について簡潔に説明いただきました。

さらに、仲上顧問の乾杯発声の後、市長を交えて和やかな雰囲気のもと食事をしながら、途中、参加者より加古川市に対して、子育て支援や加古川駅前開発等について要望や質問等があり、活発に意見を交わし、理解を深めました。

(参加者は21名)



有意義な意見交換となった懇親会

世界にたったひとつのアイテムをお届け

―3月度定例会を開催―

3月14日、(株)HGF代表取締役福岡ひろみ氏によるメンバースピーチが開催されました。

初めに自身の経歴について、ガラスアクセサリー制作をはじめたきっかけや事業を始めてからの苦労話を述べました。

福岡さんは、ガラスアクセサリーの創作で地域社会に貢献する企業を目指すこと、お客様に美しいものを見た感動と癒しと元気を提供すること、新しい発見と幸福を求め続けるという経営理念のもと、いつも感謝の気持ちを持って人と接し、お客様の幸せを願いながら一つ一つ心をこめて製作していると話しました。



パンフレットを用いて事業を紹介

終了後は懇親会が行われ、会員相互の親睦を深めました。

(参加者は17名)

会員の皆さまへ
令和5年度前期会費ご請求のお知らせ

自動振替制度をご利用の方は、4月17日(月)（加古川市以外の金融機関をご利用の方は4月27日(木)）に引き落としさせていただきますので、ご了承下さい。

また、納付書制度をご利用の方には、会費請求（領収）票をお送りいたしますので、ご送金方よろしくお願いたします。

●お問い合わせ 会員課
TEL 079・424・3355

印刷物入札

当所より発注する印刷物に関し、競争見積を実施いたします。内容につきましては、前日にお問い合わせください。（当所会員限定）

●日時 4月21日(金)10時
●場所 加古川商工会議所 3階事務所
●お問い合わせ 総務管理課
TEL 079・424・3355

商工かがわの表紙・エッセイに登場しませんか

当所から毎月1日に発行している当誌「商工かがわ」の表紙とエッセイにご登場いただける事業所を募集します。

表紙では、新事業を始めたので知ってほしい、他の企業にはないおもしろいことをやっている、新商品の販売を開始した、一緒に頑張る従業員の皆様と登場したいなど、お気軽にご相談下さい。

エッセイでは、仕事の話題以外にも趣味の話、人生を振り返って、密かに挑戦しようと思っていること、などご自身についてご執筆下さい。

●お問い合わせ 会員課
TEL 079・424・3355

ぜひご紹介ください
★★新規会員事業所★★

新入会員紹介キャンペーン

「加古川プラザホテル・東京田村食事券2,000円」を進呈いたします

【お問い合わせ】
会員課 TEL 079-424-3355

仕事・生活に活かせる 商工会議所の検定試験



◆日本商工会議所主催の検定◆

検定試験名	級	回	施行日
日商珠算 (そろばん)	1	228	6月25日(日)
	2	229	10月22日(日)
	3	230	2月11日(日)
【受験料】1級:2,340円 2級:1,730円 3級:1,530円			
日商簿記	1 2 3	164	6月11日(日)
		165	11月19日(日)
		166	2月25日(日)
	※第166回は1級施行無し		
【受験料】1級:7,850円 2級:4,720円 3級:2,850円			

日商簿記はインターネット申込の場合、受験料の他に申込手数料として別途660円(税込)を徴収

	検定試験名	級
ネット試験	日商簿記	2～原価計算初級
	日商PC	2～Basic(基礎級)
	キーボード操作技能	ビジネスキーボード キータッチ2000テスト
	日商プログラミング	EXPERT～ENTRY

申込はネット試験会場へ直接申込、施行日は随時施行となっており試験会場によって違います。試験会場・受験料等、詳しくは認定校（加古川経理専門学院）（TEL079-423-4915）まで。

◆東京商工会議所主催の検定◆

	検定試験名	級
ネット試験	カラーコーディネーター	アドバンスクラス スタンダードクラス
	福祉住環境コーディネーター	1～3
	ビジネス実務法務	1～3

ネット試験
検定試験名
ECO(環境社会)
ビジネスマネジャー
東京商工会議所検定センター
(TEL050-3150-8559)

お申し込みは、インターネットかお電話で東京商工会議所へお申し込み下さい。試験日は1年間に2シーズン(上期・下期)の期間内で、受験者が日時を設定。

日本商工会議所「LOBO調査(早期景気観測調査)」 業種別の動向(前月と比べたDI値の動き) [2023年2月調査結果] ※抜粋

建設業 ↙	リフォーム等の住宅関連の民間工事の受注は堅調に推移するものの、公共工事の受注減少や技術者等の人手不足に加え、建築資材やエネルギー価格の高騰に伴うコスト増に見合う価格転嫁も十分に行えず、悪化。 ・「民間工事の受注を増やしていきたいが、技術者不足により、受注を諦めるケースが増加している。企業説明会を開催し、採用に繋がる機会を創出するとともに、福利厚生の実施や物価高に対応した賃金の引き上げ、労働環境の改善に努め、人材を確保していきたい」(一般工事業) ・「公共工事は依然して減少傾向が続いている。また、公共工事は入札済み案件の価格交渉には条件があり、該当しないと採算割れとなる」(土木工事業)
製造業 ↘	原材料価格の高騰に関する価格転嫁は進んでいる声はあるものの、外需減退による電子部品関連の受注減少に加え、エネルギー価格の高騰によるコスト負担増が押し下げ要因となり、悪化。 ・「部品不足が少しずつ解消され、生産増による売上回復を見込んでいたものの、需要が弱く、取引先からの発注量が減少している」(電気計測器製造業) ・「一時は上昇した仕入価格分を、販売価格にすべて価格転嫁することができた。しかし、転嫁後に原材料が再度値上げされたり、電気代などのコスト増加が続いており、価格転嫁が追いつかない」(めん類製造業)
卸売業 ⇒	百貨店や飲食・宿泊業関連の需要は増加している一方、外需の減退による電子部品関連など製造業からの引き合いの減少や、輸送費や梱包資材費の高騰によるコスト負担が重荷となり、ほぼ横ばい。 ・「仕入価格の上昇に伴う販売先への価格改定は、都度行っている。一方で、年に数回仕入価格が上がっている商材もあるため、同一商材の再三の価格改定の実施は難しい状況である。エネルギー価格の高騰も重なっており、すべてを価格転嫁行えてはいない」(一般機械器具卸売業) ・「需要が回復基調のため、人員増を進めたいが、人員を確保した矢先に需要が再度減少する可能性もあり、判断が難しい状況である」(食料・飲料卸売業)
小売業 ↗	物価高による消費者の節約志向の高まりで、スーパーや商店街では業況改善に足跡が見られるものの、インバウンド需要の増加による免税品、高付加価値商品の売上が堅調な百貨店が全体を牽引し、改善。 ・「人の動きは戻ってきており、一層の売上回復を期待している。しかし、光熱費の高騰や、賃上げ圧力も重なり、収益悪化が懸念される」(百貨店) ・「主要顧客である地域住民は依然として来店頻度は少なく、店舗売上は低迷が続いている。一方で、ネット販売の売上は好調のため、業態の変更や販売方法の転換などを進め、さらなる売上増加を図ってきたい。」(茶類小売業)
サービス業 ⇒	仕入価格やエネルギー価格の高騰によるコスト増は続くも、全国旅行支援やインバウンド需要により客足の回復が順調な飲食・宿泊・旅行業が下支えし、ほぼ横ばい。 ・「インバウンド需要や全国旅行支援の下支えもあり、観光需要は堅調に推移している。5類への移行により、日常生活の正常化も視野に入ってきており、いままで停滞していた教育関係やスポーツ関連の事業を強化し、顧客獲得を図っていく」(旅行業) ・「外出する人が増えたことで需要は回復しているが、光熱費の上昇が収益を圧迫しているため、技術料に転嫁できる気運づくりを求めたい」(美容業)

4月の会議所カレンダー

日	曜日	行事	日	曜日	行事
3	月	広報委員会、初級簿記講座(～5/26)	18	火	(無料)金融相談、(無料)社会保険労務相談
4	火	新入社員セミナー①(～5日)	19	水	青年部 通常総会、(無料)税務相談
6	木	新入社員セミナー②(～7日)	21	金	金融不動産業部会 例会、会員委員会、(無料)法律相談
7	金	異業種 ゴルフコンペ・花見例会、(無料)法律相談	24	月	(無料)特許・商標相談
13	木	女性会 Lunch exchange in ON THE HILL	25	火	加環研 正副会長・正副部会長会議、(無料)不動産相談
17	月	令和5年度前期会費〈市内金融機関口座振替日〉	27	木	令和5年度前期会費〈市外金融機関口座振替日〉

- 「個別経営相談会」は事前予約が必要です。あらかじめご相談内容をお知らせください。(※)
 - 無料相談は、変更・中止となることがあります。お手数ですが、事前にお問合せください。
 - ⇒「特許・商標知財相談」は4月20日(木)までに予約が必要です。あらかじめご相談内容をお知らせください。(※)
 - ⇒日本政策金融公庫による「金融相談」はWEBミーティング形式での相談となりますので、事前予約が必要です。(※)
 - ⇒「不動産相談」は当面の間【完全予約制】の【電話相談のみ】となり、4月21日(金)までに予約が必要です。(☆)
- 《問合わせ・予約連絡先》※印:加古川商工会議所 電話079-424-3355
☆印:(一社)兵庫県宅地建物取引業協会 加古川支部 電話079-424-0832

商工かこがわ4月号

発行
2023年4月1日
発行人
加古川商工会議所
〒675-0064
加古川市加古川町溝之口800
TEL (079)424-3355(代表)
FAX (079)424-7157
印刷所 加古川印刷事業協同組合

広報委員の“つぶやき”

「春はあけぼの。」枕草子の冒頭の一節ですが、満開の桜もいいものですね。ただ、地球温暖化のせいで年々開花時期が早まっているのが気になります。

「今月の“こんな日”」

●肩こりの日(22日)

1910年4月22日、夏目漱石の新聞連載「門」に「指で压してみると、頸と肩の継目の少し背中へ寄った局部が、石のように凝っていた。」との記述があり、日本人がコリの症状を自覚するようになったきっかけのひとつとされています。その記述がされた日と、「しんどい(4)コリ、つらい(2)つらい(2)」と読む語呂合わせから制定。